演習１２で作成した営業部の個別監査計画に基づき、Sサービス株式会社の内部監査を実施しました。内部監査で実施されたインタビューの記録は、テストケースに示された通りです。

判断においては、JIS Q 27001:2006の「A.7　資産の管理」を対象として下さい。

演習１３－１．　不適合報告書を作成します。不適合報告書の空欄を埋めてみてください。

不適合報告書

文書番号：ISMS-監査-06-008

作成：平成１８年１０月２０日

承認：監査責任者（総務部長）

作成：営業部監査担当（総務部 システム管理者）

（１）不適合の対象となる監査基準の項目

演習13-1-1.　JIS Q 27001:2006 「A.7 資産の管理」の項目のどの管理策に対して適合していないかを書いてください。

（２）監査で得られた証拠

演習13-1-2.　（１）で示した監査基準の項目に対し、不適合と判断した証拠（発言、情報を含む事実）を書いてください。得られた証拠をそのまま記述します。

　　　　　　　　例）ｘｘｘという内容の規程が定められている（文書名：○○○○）

　　　　　　　　例）ヒアリングで○○○という質問にｘｘｘという回答があった。

（３）判断結果

演習13-1-3.　演習13-1-2．で得られた証拠から、重大な不適合、軽微な不適合、改善の機会のどれにあたると考えられるか、書いてください。

（４）判断理由

演習13-1-4.　 演習13-1-2から得られた証拠（事実）を考慮して、演習13-1-1で選んだ監査基準の項目に対し、演習13-1-3の判断を行った理由を書いてください。